

調査日時：令和4年4月19日（火） 調査対象：第3学年生徒

	国語	数学	理科
成果が見られる・おおむね達成されている主な設問	<ul style="list-style-type: none"> 助動詞の働きについて理解し、目的に応じて使う 文脈に即して漢字を正しく書く 事象や行為、心情を表す語句について理解する 漢字の行書の読みやすい書き方について理解する 	<ul style="list-style-type: none"> 簡単な連立二元一次方程式を解くことができる 多数の観察や多数回の試行によって得られる確率の意味を理解している 問題場面における考察の対象を明確に捉えることができる 	<ul style="list-style-type: none"> モデルを使った実験において、変える条件と変えない条件を制御した実験を計画できるかどうかをみる 化学変化に関する知識及び技能を活用して、水素の燃焼を分子のモデルで表した図を基に化学反応式で表すことができるかどうかをみる 節足動物の外部形態の観察結果と調べた内容を、生活場所や移動の仕方と関連付けて、体のつくりと働きを分析して解釈できるかどうかをみる
課題が見られる主な設問	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫して話す 自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書く 場面の展開や登場人物の心情の変化などについて、描写を基に捉える 漢字の行書の読みやすい書き方について理解する 	<ul style="list-style-type: none"> 自然数を素数の積で表すことができる 結論が成り立つための前提を考え、新たな事柄を見だし説明することができる 事象を数学的に解釈し問題解決の方法を数学的に説明することができる 筋道を立てて考え、事柄が成り立つ理由を説明することができる 	<ul style="list-style-type: none"> 化学変化に関する知識及び技能と「エネルギー」を柱とする領域の知識及び技能を関連付け、水素を燃料として使うしくみの例の全体を働かせるおおもとして必要なものを分析して解釈できるかどうかをみる 力の働きに関する知識及び技能を活用して、物体に働く重力とつり合う力を矢印で表し、その力を説明できるかどうかをみる 地層の広がり方について、時間的・空間的な見方を働かせながら、ルートマップと露頭のスケッチを関連付け、地層の傾きを分析して解釈できるかどうかをみる
主な改善策	<ul style="list-style-type: none"> 提示された課題解決のために、ICT機器を活用して他者と交流し対話を通して自分の考えを再構築するなど、課題解決の工夫を図る。 教科書のみならず、新聞やインターネットの記事など、身の回りにある文章から、自分の考えの根拠になる文を取り出すなど、指導の工夫を図る。 書写の学習において、様々な字体の特徴について理解したことを、学校生活に生かす活動を継続するなど、指導の工夫を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 「図形」の学習に、図や言葉を用いて根拠などを適切に表現したり、論理的に説明し合ったりする活動を取り入れるなど、指導の工夫を図る。 「数と式」の学習に、文字を用いた式の計算や立式の練習をしたり、数量及び数量の関係を捉えて説明したりすることを取り入れるなど、指導の工夫を図る。 「一次関数」の学習に、伴って変わる2つの数量及びその関係に着目し、表・式・グラフを用いて考察し表現することを取り入れるなど、指導の工夫を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 「化学変化とイオン」の学習で、原子のつくりをもとに既習済みの気体の性質や化学変化に関する知識及び技能を関連付け、化学変化とイオンで説明できるよう指導の工夫を図る。 「運動とエネルギー」の学習で、力の合成や分解を表す作図の練習を多く取り入れ、力を矢印で表現するなど、指導の工夫を図る。 「地球と宇宙」の学習で、地球と太陽、他の天体との位置関係を時間的、空間的な見方を働かせながら、見かけ上の運動と実際の運動とを結びつけながら考えることができるよう、指導の工夫を図る。

学力向上に向けた今後の取組

- ・小中連携の9年間を見通した基本的な生活習慣と学習ルールの指導の工夫・徹底
- ・数学科における習熟度別指導、ティーム・ティーチングの充実
- ・前時の振り返りやチャレンジテストの全学年での取組の推進
- ・家庭学習習慣の定着促進
- ・定期テスト前の学習会の実施、放課後の自習室の開放
- ・学期末の学習相談の実施
- ・ミライシード「家庭学習ソフト」の活用
- ・ICT機器を活用した授業改善による個別最適化された学びの実現

質問紙調査

肯定的な回答の割合が高い質問	<ul style="list-style-type: none"> ・朝食を毎日食べている ・毎日、同じくらいの時刻に起きている ・いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う ・人の役に立つ人間になりたい ・友達と協力するのは楽しい
肯定的な回答の割合が低い質問	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞を読んでいる ・今住んでいる地域の行事に参加している ・地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある ・地域の大人に、勉強やスポーツを教えてもらったり一緒に遊んでもらったりする ・土曜日や日曜日など学校が休みの日の勉強時間
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している・・・ R3 73.2% R4 69.7% ・人が困っているときは、進んで助ける・・・ R3 87.4% R4 83.8% ・学校生活をよりよくするために話し合い、互いの意見の良さを生かして解決方法を決めている・・・ R3 79.1% R4 82.4%